

大手電気通信会社が 18 か月に 7 つの財務グループ を自動化



組織の概要

ある大手全国規模の電気通信会社は、国内全体の消費者と法人顧客への世界クラスのブロードバンド通信サービスの提供において業界をリードしています。

課題

業界リーダーであるこの企業の財務チームでは、ワークロードが大きな負担となっていました。リソースの拡大と採用の繰り返しは、効率に優れた業務において不可欠な長期的な戦略には含まれていませんでした。貴重なリソースを消費する膨大な「バックオフィス」処理を実行するための新しいアプローチは、長い間先送りになっていました。手作業のプロセスから人々をすぐに解放する画期的なソリューションが切実に必要とされていました。この企業は、財務チームがこれまで取り組むことができなかったデジタル変換プロジェクトに全力で取り組む必要がありました。

ソリューション

オートメーション・エニウェアのデジタルワークフォースプラットフォームの導入および拡張により、非常に効率的な運用を実現し、企業全体に配備されたあらゆるデジタルワーカーの速度と標準化が最大限に発揮されています。このソリューションにより、従業員は明確な指示と適切なセキュアデータを受け取り、それに基づいて行動することができ、混乱を防ぐことができました。これにより、方向性とデータの両方が自動的にリンクされ、生産性が向上しました。財務 RPA チームは現在、企業全体で高い評価を受けており、自動化ソリューションを導入している他のチームのための概念実証作業を支援しています。

メリット

18 週間

最初のロボット導入からリーダーシップの同意を得るまで

4,000 時間

節約された 1 か月あたりの作業時間

200%

チームの成長率 (前年同期との比較)

自動化されたプロセス

- 財務報告
- 請求から入金まで
- EFT (電子資金決済)

業界
電気通信

「わずか 4.5 か月後に本稼働に入り、このイニシアチブの価値が実証され、リーダーシップの同意を得ることができました。ちょうど 18 か月後には、財務部門で 7 つの様々なグループがロボットによりサポートされています。」

— ロボティック・プロセス・オートメーションのリーダー

詳細

財務チームの自動化への道のりは1年半前に1つのボットから始まりました。財務および経理の専門スタッフは、オートメーション・エニウェアのわずか2週間のトレーニングで準備を整え、財務部門の自動化イニシアチブをリードしています。MS Outlookで作業するときには、オートメーション・エニウェアの機能を強化するための新しいコマンドの新しい組み合わせを作成する準備ができています。その結果、ロボットと一般ユーザーは同じメールボックスを干渉し合うことなく共有でき、財務部門の能力は劇的に向上し、従業員の満足度と定着率が高まりました。

初期のボットプロジェクトとして、成功が早期に実証されました。重要な初期の「立ち上げ」段階の間に、初心者である財務の自動化担当チームは、日々オートメーション・エニウェアと相乗的に連携して作業を行いました。わずか4か月半後に実稼働を始めることで、このイニシアチブの価値が実証され、リーダーシップの同意を得ることができました。ちょうど18か月後には、財務部門には7つの様々なグループがボットによるサポートを受け、自動化は引き続き拡大および加速し続けています。企業の財務部門内の自動化担当チームだけでも200%の成長を遂げ、新しいスタッフは自動化の開発のみに30~40%の時間を費やしています。

自動化が拡大するにつれて、成功の尺度は節約した時間を超えて広がっています。

セキュリティは、多くのプロセスにおいてビジネスクリティカルな特性です。たとえば、新しいボットは人間の介入なしにSAPの請求書処理を実行します。節約した時間はごくわずかですが、セキュリティリスクの軽減は非常に重要です。

もちろん、時間の節約は常に「驚くべき要因」であり、従業員に個人的レベルでも影響を与えます。よりクリエイティブで革新的な仕事のための時間を得ることはチームにとって非常にやる気を起こさせます。累積的に言えば、約20の自動化されたプロセスが配備された状態で、財務チームは毎月4,000時間を取り戻しました。デジタル変革は常に多くのことであふれています。今、チームはそれらに正面から取り組んでいます。

今後の展望

企業のIT戦略の変化がボットの導入に影響を与えています。具体的には、仮想マシンから物理マシンへの移行です。RPAチームが直面している直近の課題は、プログラムされたプロセスボットの移行です。

社内では、財務チームで非常に成功しているモデルと同じモデルを採用しようと熱心になっています。財務のRPAチームは現在、社内で頼りにされるグループ（つまり、センターオブエクセレンス）になり、自動化への道にに取り組む他のチームの概念実証の作業を支援しています。

オートメーション・エニウェア・ジャパン株式会社

オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタルワークフォースプラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

Automation Anywhere  www.automationanywhere.com/jp

 @AutomationAnywh

 contact_japan@automationanywhere.com

Automation Anywhere ©2018

2019年2月、第1版

「時間の節約は常に「驚くべき要素」です。私たちのボットの1つは月に60時間を節約しています。このことは、人々を驚かせ、彼ら自身で独自の自動化を開発することに関心を持つようになります。」

ー ロボティック・プロセス・オートメーションのリーダー